

(再開 午前11時10分)

議長（勝山 正）

休憩前に引き続き会議を開きます。

8番 山崎栄喜 議員。

(「はい、議長。8番。」の声あり)

(8番 山崎栄喜 議員 登壇)

1. 道の駅ファームス木島平の今後について

8番 山崎栄喜 議員

発言を許されましたので、通告に基づき4項目について質問します。

最初に、道の駅ファームス木島平の今後について質問します。

道の駅ファームス木島平の再生整備を行うと言います。

そこで、次の点について村長に伺います。

1点目、現施設の検証を行ったのか。また、問題点は何か。

2点目、予算決算常任委員会に示された資料では、再生整備に係るスケジュールは、7月までに基本的な考え方を作成し、コンセプト、整備内容、付加機能の素案を決めることになっていました。基本的な考え方について決めたのか。また、決めたのであれば、その内容についてお尋ねします。

3点目、再生整備しようとする施設の最大事業規模と財源についてお聞きします。

4点目、令和3年度に村が委託し作成しました運営改善計画では、設備・備品を村費で購入するほか、指定管理料を村が毎年1,782万円支払うとされ、その指定管理料の中身は商品開発費、写真撮影費用、接客研修費、商品レシピ開発費、製造研修費、駅長と事務員の人件費、赤字補填分などでありました。私が思うに、それら経費は収益事業であり、運営事業者が負担すべきものであると思います。今回の再生計画策定に当たっての村の考え方についてお尋ねします。

5点目、再生整備しようとする道の駅が、本村にもたらす経済効果はどのくらいになるのでしょうか。金額でお示しいただきたいと思います。

6点目、9月1日の行政報告で、施設の再生整備に向けた検討委員会を立ち上げたという報告がありましたが、そのメンバーはどういう人か、お尋ねします。

7点目、今年3月議会一般質問において、「施設を改修しても過去の二の舞になるのではないのか。村長にはバラ色の未来が見えるのか。」と質問したのに対し、村長は「いばらの道だった。」と答弁されました。私は過去の感想を質問したわけではなく、再生整備を行えばうまくいく自信があるのかを尋ねたわけであります。自信があるのであれば、その根拠をお示しいただきたいと思います。

8点目、私が耳にする村民の声としては、「もうやめるのではないのか」「うまく行きっこない」という否定的な意見ばかりであります。村長にはそういう声が耳に入らないのか。再生整備を行うのであれば、村民アンケート調査を行い、民意を問うべきであると考えます。

以上、8点について伺います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

(村長「日墓正博」登壇)

村長（日墓正博）

それでは、ファームス木島平についてのご質問であります。

私の方から7番目と8番目についてお答えをさせていただきます。

まず、7番目、再生すれはうまくいくのか、また、その根拠はということですが、少なくとも、現段階の課題を解決することで前進すると考えております。企業の自由な発想やノウハウの活用

により、行政よりも効率的で効果的な運営ができると期待をしております。

農業や観光、主要産業の村の将来を考えたとき、それらを結びつけ、更に相乗効果を発揮する拠点が必要であるとともに、地域経済の振興による地域産業や地域コミュニティの活性化、雇用の確保などに向けても重要な施設であると考えております。事業の目的であります、木島平村全体を牽引する道の駅として招かれるよう、皆様のご理解をお願い申し上げたいと思います。

つぎに、アンケート調査ということになりますが、さまざまなご意見があるのは承知しております。逆に期待するといったご意見もあります。観光施設の民間化を進めていく上で、次の新たな活性化施設として、村にとっても地域にとっても重要であり、また、多様な農業の再生産可能な施設にもなると考えておりますので、アンケート調査は今のところ考えておりません。

そのほかの質問については、産業企画室長に答弁をさせます。

議長（勝山 正）

湯本産業企画室長。

（産業企画室長「湯本寿男」登壇）

産業企画室長（湯本寿男）

それでは私の方から、そのほかの質問について答弁をさせていただきます。

まず1点目、現施設の検証を行ったのか、問題点は何かということでございます。

施設の検証につきましては、直営の施設でもありまして、毎年の業務監査及び決算監査を受け、事務事業評価を行いながら、平成29年度に行った利活用検討委員会の意見交換、令和3年度の運営改善計画策定業務の中で行った現状分析及び事業価値評価等で行ってきております。

問題点として挙げますと、適正な指定管理事業者、運営者の不在、施設計画の現実性の問題と考えております。

2つ目、再生整備に係るスケジュールでの基本的な考え方を作成したのかというご質問でございます。

今後行います検討委員会で示す資料として、基本的な施設の考え方をまとめております。具体的な内容は検討委員会で検討されますので、施設の基本的な考え方を示した内容であります。

3点目、再生整備しようとする施設の最大事業規模と財源はということでございます。

施設の事業規模ですが、検討委員会でのコンセプト、デザイン設計等の内容で大まかなものをイメージして作っていく予定であります。

財源としては、これまでもお伝えしていますが、「デジタル田園都市国家構想交付金：拠点整備タイプ（2分の1補助）」であります。こちらを今のところは想定をしております。

4点目、全国道の駅支援機構が策定した運営改善計画での経費負担、今後の再生計画策定にあたっての経費負担の考え方はということでございます。

指定管理料や運営経費の負担の考え方でありまして、これまでもご説明しているとおり、全国道の駅支援機構の運営改善計画で示されたのは、現在の施設で経営改善を行った場合であり、今後の再生整備事業に当たっては、今後決定していくことになります。

また、新施設の内容については、これから検討委員会や専門家等への相談を通して決定していくこととしておりまして、その内容によって指定管理の考え方は変わってまいります。

あわせて、非収益施設、公的機能があれば指定管理費は必要と想定をしております。

なお、今回は効果的かつ効率的な管理運営とするため、民間運営希望者が設計段階から関わる手法で進める予定であります。建物を建てた後の管理運営を見据えた設計・施工が期待でき、合わせてコストを削減できると考えております。

5点目、再生整備しようとする道の駅が本村にもたらす経済効果ということでございます。

具体的には現在のところ数字を示すことはできませんが、新施設の内容については、これから検討

委員会や専門家への相談を通して決定していくこととしておりました、その機能や内容によって変わってくると思いますので、改めて段階になりましたら、お示しをさせていただきたいと思っております。

6点目ですが、9月1日現在の行政報告で、検討委員会を立ち上げたという報告を行いました、そのメンバーはということでございます。

検討委員会のメンバーということですが、一般公募で2名、各分野の事業に関わる方として3名、施設を現在管理している農業振興公社、観光振興局からそれぞれ1名を選出しております。

議長（勝山 正）

山崎栄喜 議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

再質問させていただきます。

1点目、現施設の問題点として、適正な指定管理者、運営者の不在、それから、施設計画の現実性の問題と考えているという答弁でありましたが、私が考えるには立地、それから、農産物を含めて、魅力のある商品が米以外に無かったのが大きな要因ではないかと思えます。

そこで、本村には、目玉となりそうな、核となりそうな商品は何があるとお考えなのか、お聞きしたいと思います。

2点目、非収益施設の指定管理費は必要という答弁でありましたが、これは本来の道の駅機能分でありまして、トイレや駐車場がそれに相当しますが、道の駅として残すのであれば、それは必要という判断になるかと思えますが、私が問題視しているのは、収益部門に対する支出であります。

くどうようであります、令和3年度に村が委託して作成した運営改善計画では、運営事業者は、土地代、施設、備品購入費、これは村が補助金をもらいながら設置するわけでありまして、運営事業者の負担はゼロということになります、運営事業者負担がかからない上に、商品開発費や接客研修費、赤字補填分まで村が出すというような内容であったわけでありまして、非常に至れり尽くせりの対応でありまして、通常の事業活動では私には考えられないということで、問題提起をしているわけでありまして、それらについて、これから検討委員会等を踏まえて検討するという答弁でございますが、これらの支出について、村としての基本的な考え方、出すのか、出さないのか。困ったら村に頼めばいいとか、赤字覚悟でもやるのかということ、費用対効果の問題が出てくると私は思います。

そんなことで、今の私が申し上げた非収益部門についての村の明確な方針、出すのか、出さないのか。くどうようであります、お答えをお願いしたいと思います。

3点目、行政よりも効率的で効果的な運営ができると期待しているという答弁でありました。

これも今までは、民間の会社あるいは農業振興公社がやってきたわけでありまして、行政そのものがやってきたとは、私は解釈していなかったのですが、それはさておいて、今の答弁をお聞きすると、今より少しマシ程度というような期待感というように捉えますが、それで村民の理解が本当に得られるのか。私は到底そうは思えません。それで村長は満足されておられるのか、お聞きしたいと思います。

それから4点目、アンケート調査は考えていないという答弁でありましたが、私の耳に入ってくるのは先ほど申し上げたとおりでありまして、村長にもそういう意見はもちろん届いていると思えますが、ちょっと村民の意見を聞く姿勢に乏しいのではないかと思わざるを得ません。

そういうことで、村長は民意をどういうことで判断するのか、お尋ねしたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

(村長「日碁正博」登壇)

村長（日碁正博）

先ほどの最後のアンケートの件であります、正直申し上げまして、いろいろな意見というよりも、私の方に入ってくるのは、道の駅をこうした方がいいのではないか、あのようにした方がいいのではないかと、いろいろ前向きな意見の方が多いというのが事実です。

ただ、アンケートを実施しないというのは「今は」ということであります。将来的にもし必要があれば、やることも場合によってはあるかもしれませんが、それは現時点では何とも言えないと思っております。

今の時点で、アンケートするとなれば、あそこを継続するのか、止めるのか、潰すのかというのはアンケートにならざるを得ないだろうと思っております。そういう意味でのアンケートは、現時点では考えておりません。

他の質問について担当課長に答弁させます。

議長（勝山 正）

湯本産業企画室長。

(産業企画室長「湯本寿男」登壇)

産業企画室長（湯本寿男）

それでは、私の方からお答えをいたします。

まず、1点目の問題点の中でご指摘のある立地、村には目玉となるような特産物が現時点で無いということで、どう考えるかというご質問でございます。

十分、米でも特産物として、今まで村としてPRをさせていただいております。引き続き米、それはもう当然ですけれども、村内だけで完結するものではないと考えております。そこで新たに生まれる加工商品、周辺地域にも特産物がございますので、そういったものが活用されていく施設になればいいと考えております。

それと、費用の考え方でありますけれども、山崎議員ご指摘のとおり、非収益施設については、村で経費を負担していくのがやはり良いと思っております。ただ、収益部門でどのくらいの収益が上がるかということも、今後の検討、デザインの中で示してくると考えておりますので、その辺で例えば仮に、最初のスタートのときはちょっと厳しいなという話も、もしかしたら、やはりいろいろな条件から考えて出てくるかもしれません。それはそのときに、また改めて協議が必要かと思っておりますけれども、基本的に、今の村の考え方からすると、非収益部門は指定管理費などでみていくことは前提で、収益部門は民間の方に担っていただきたいという考え方でございます。

議長（勝山 正）

山崎栄喜 議員。

2. 観光庁の観光再生等の事業取組について

8番 山崎栄喜 議員

2項目目の質問、観光庁の観光再生等の事業取組について質問します。

観光庁が所管する地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業は、観光地経営のマスタープランとなる地域計画の構築・磨き上げ及び宿泊施設・観光施設の改修、廃屋の撤去、面的DX（業務のデジタル化により効率化を図るだけでなく、収集されるデータの分析や利活用によって、ビジネス戦略の再検討や新たなビジネスモデルの創出といった変革を行うもの）など、地域・産業の「稼ぐ力」を回復・強化するための取組を国が支援する事業で、宿泊施設の高付加価値化改修や観光

地の景観改善等に資する廃屋撤去に、1施設当たり1億円を上限に、2分の1が補助されます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって疲弊しました観光事業者にとっては、大変有利なありがたい補助事業であります。

この事業の事業所主体となれるのは、村、このほか、観光振興局などの観光地域づくり法人（DMO：登録が必要）、それから、複数の民間事業者等であります。

村の観光振興と地域活性化はもとより、宿泊事業者の後継者対策にも繋がる可能性がある大変魅力的な事業であります。

そこで、村が事業主体となる、もしくは、村が指導的な役割を果たし、この事業に公募すべきであると考えますが、伺います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

（村長「日墓正博」登壇）

村長（日墓正博）

官公庁の観光再生等の事業ということではありますが、ご質問の件については現在、関係事業者の計画を伺いながら申請の手続きを進めております。

内容について、産業課長に答弁させます。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

（産業課長「湯本寿男」登壇）

産業課長（湯本寿男）

それでは、私の方から補足して答弁をいたします。

この事業につきましては、今、山崎議員ご説明をいただいたとおりの目的、内容の事業であります。

村を事業主体としてすでに応募しておりまして、地域計画の作成の最終段階であります。その計画の審査後に、採択が決定される予定になっております。

村では応募にあたり、商工会、観光振興局を通じて要望を募り、現時点では、村を含めて、10事業者、12事業を予定して計画を進めているところであります。

ご説明いただいたとおりですけれども、今回は地域一体となったということでありまして、やはり地域全体に、経済効果を波及するという目的の事業でありまして、やはりある程度大きな事業規模の改修が必要ということで進めておりますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎栄喜 議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

再質問させていただきます。

2点お願いしたいと思いますが、村がすでに事業申請をしたということがございます。これについて、議会に何の情報提供もありませんでしたが、申請を進めているということございました。

大変結構なことであると思いますが、そこで再質問でございますが、申請の期限はいつまでになったのか。今まで、2次募集まで採択されてきた経過があるのですが、ということで3次募集になるのかと思いますが、申請期限といつ決定するのか、その辺のスケジュールについてお伺いをしたいと思

います。

それから2点目に、10事業者、12事業という答弁でございましたが、村の施設もこの事業の採択が可能と私の判断では捉えているのですが、そういうことで、この中に計画に盛り込む村の施設があるのか、あるとすればどの施設か、ご答弁をお願いします。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

（産業課長「湯本寿男」登壇）

産業課長（湯本寿男）

私の方から再質問にお答えをいたします。

まず、スケジュールの関係であります。

山崎議員おっしゃったように、今回は第2期の募集になります。

この事業につきましては、第1期が3月から4月にかけて募集が行われております。今回は第2期の募集でございまして、6月1日から6月30日の間に応募をした事業が対象になります。

今回、この事業につきましては、まず1回手挙げをします。どのような事業者が何件いてという簡単なものでございまして、その後に地域の計画を作って、今、地域の計画を作って最終の最終段階でございまして、9月に最終の計画提出をいたしましたので、これで観光庁の方で審査をいたします。おおむね10月から11月にかけて、事業の採択が決定されていくという予定になっております。

あと、村の施設というお話でございまして。

こちらの応募期間に合わせるような形で、村で今現在、想定できる事業として計画として挙げております。一つは馬曲温泉、もう一つは観光交流センターでございまして。

具体的にどういう形かというのは、計画の時点では明確にはしてないのですが、今後もそういったことも事業の可能性があるということで、計画に盛り込んでおります。

再々質問

8番 山崎栄喜 議員

私がインターネットで調べたところによると、2次の採択が決まっていたと受けとめていたのですが、そこには、長野県の自治体でも2自治体が入っていました。それはもうすでに終わっている。だから、第2期ということだったのですが、確認ですが、第2期ということでもいいのか。私は、第2次募集は載ってなかったと受け止めたのですが、その辺の誤りがあるのか、質問、確認ですが、よろしくをお願いします。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

（産業課長「湯本寿男」登壇）

産業課長（湯本寿男）

再々質問ってことでよろしいと思いますが、今回の第2期の募集、応募ですが、第2期の期間で応募はしますが、今回、第1期で漏れた事業が結構相当数あり、その中で、第2次の事業採択がされていきます。

今回、第2期で応募した事業については、これから第3次、実質的には3番目の事業の採択に移っていくという流れになっておりますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎栄喜 議員。

3. 家庭用除雪機購入補助制度の創設について

8番 山崎栄喜 議員

それでは、3項目目の質問、家庭用除雪機購入補助金制度の創設についてということで質問します。

近隣の市町村では、山ノ内町に続いて、飯山市も今年度から家庭用除雪機の購入補助制度を設けることとし、必要な予算案を9月定例会、今議会に提出するといっています。

この補助制度の創設については、昨年6月議会でも質問いたしましたが、近隣市町村の状況も変わり、村民の負担軽減、移住者対策にもつながり、若者の流出にも歯止めをかけるという意味も含めまして、本村も補助制度を創設する必要があるだろうと思いますが、村長の答弁を求めます。

議長（勝山 正）

日墓村長。

(村長「日墓正博」登壇)

村長（日墓正博）

家庭用除雪機の補助制度ということであります。

おっしゃるとおり、豪雪地帯における除雪作業は、そこに住む人にとって本当に大きな負担になっているということはお指摘のとおりであります。

議員各位もこれまでお指摘いただいておりますが、厳しい財政状況の中で、新しい事業に取り組むということ、その場合にはまた財源の確保、現行の事業の見直し等、さまざまな観点から財源の確保が必要だろうと思います。その中で、これから行います実施計画、それからまた来年度の予算策定の中で検討してまいりたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎栄喜 議員。

4. 带状疱疹ワクチン接種に対する補助制度の創設について

8番 山崎栄喜 議員

それでは最後の質問、带状疱疹ワクチン接種に対する補助制度の創設について質問します。

带状疱疹は、80歳までに3人に1人が発症し、発症するとピリピリと刺すような痛みがあり、水膨れができ、放っておくと症状が悪化して入院を余儀なくされる場合もあるといっています。また、後遺症として神経痛の痛みが残り、日常生活にも支障をきたすそうであります。

この予防策としては、ワクチン接種が有効ということではありますが、带状疱疹不活性化ワクチンというものがあるそうですが、そのワクチンの効果が非常に高いということですが、このワクチン接種の場合、2回の接種で接種費用が4万3,340円と高額であります。

そこで、村民の健康を守るとともに、医療費の削減にも繋がりますので、接種費用の一部を村が補助するべきであると考えますが、村長の答弁を求めます。

議長（勝山 正）

日墓村長。

(村長「日墓正博」登壇)

村長（日墓正博）

带状疱疹については先ほど議員から話がありましたが、水ぼうそうと同じウイルス「水痘带状疱疹

ウイルス」が原因ということでもあります。

子供の頃に水ぼうそうを発症すると、大人になってもそのウイルスが体内に残るということで、成人の約9割が抗体を持っているということでもあります。

带状疱疹のワクチンについては、任意接種のワクチンであります。費用は、原則自己負担となっております。

ワクチンは2種類あって、生ワクチンについては1回の接種で費用が約1万円程度、より効果が高いと言われる不活化ワクチンの場合には2回接種が必要で、費用は約4万円から5万円ということでもあります。

現在、国の厚生科学審議会におきまして、带状疱疹の発症頻度やワクチン効果の持続性等から、接種に最適な対象年齢と期待される効果、安全性などの議論が慎重に行われているということでもあります。公費負担のある定期接種化に向けた検討もされているということでもあります。

村としては、こうした専門家の議論を注視してまいりたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎栄喜 議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

再質問させていただきます。

答弁がありました。県下で補助を行っている自治体というのは、2自治体だけあります。非常にまだ少ないわけでありまして。東京都はかなり多くやっています。都も補助を実施している市町村に補助しているというようでございます。県下は、なかなかそういった状況になっていないということは、私も理解しております。

しかしながら、木島平村はかつて有線放送、全村健康管理検診など、他の市町村に先駆けて行ってきた輝かしい歴史があるわけでございます。

そこで、確認を含めてお聞きしたいと思いますが、村は公費負担の方向づけ、これがなされない限り補助しないのかどうか、その補助のタイミングについてお聞きしたいと思います。

先ほどの除雪機の話もそうですが、やはり、後追いばかりしていくのでは非常に魅力のある村とは思えません。せっかく観光施設の民営化で、浮く財源もあるわけでございますので、村民のために、ぜひ英断をお願いしたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

(村長「日墓正博」登壇)

村長（日墓正博）

先進的な健康づくりの村ということでもあります。

村でもご存知のとおり、例えばピロリ菌の無料検査など、さまざま取組をしております。そしてまた、子供や高齢者に対するワクチン接種の補助など、かなり早くから取り組んできたつもりであります。そのほかいろんなワクチンがあります。その中で、それらのバランスであったり、それからまた費用の関係等、その費用対効果等見ながら検証してまいりたいと思います。

先ほどの除雪機については、来年度に向けての検討をしていきたいということをお申し上げしましたが、带状疱疹については、もうちょっと慎重に検討する必要があるのではないかと考えておりますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

以上で、山崎栄喜 議員の質問を終わりにします。

（終了 午前11時48分）

議長（勝山 正）

ここで暫時休憩とします。

再開は、午後1時00分をお願いします。

（休憩 午前11時48分）